

## 船舶事故調査報告書

平成26年6月19日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

|   |   |
|---|---|
| 事故種類  | 乗組員死亡   |
| 発生日時  | 不明（平成25年6月14日 12時00分ごろ以降における錨泊開始後～20時02分ごろの間）   |
| 発生場所  | 沖縄県うるま市津堅島西方沖<br>沖縄県中城村所在の平曾根灯台から真方位288°560m付近<br>（概位 北緯26°15.9′ 東経127°52.8′）   |
| 事故調査の経過   | 平成25年6月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。<br>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。  |
| 事実情報<br>船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等<br>L×B×D、船質<br>機関、出力、進水等 | 漁船 とも丸、3.0トン<br>ON3-16548（漁船登録番号）、個人所有<br>8.89m(Lr)×2.27m×0.73m、FRP<br>ディーゼル機関、180.20kW、平成4年1月20日<br>第296-13372号（船舶検査済票の番号）   |
| 乗組員等に関する情報  | 船長 男性 63歳<br>一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定<br>免許登録日 平成15年11月20日<br>免許証交付日 平成20年11月17日<br>（平成25年11月19日まで有効）   |
| 死傷者等  | 死亡 1人（船長）   |
| 損傷  | なし  |
| 事故の経過   | 本船は、船長が1人で乗り組み、津堅島北方沖において、平成25年6月14日12時00分ごろ家族の漁船と行き会い、言葉を交わした。<br>僚船は、本船が帰らないので、うるま市勝連漁業協同組合を通じて海上保安部へ通報するとともに、捜索に向かった。<br>僚船は、20時02分ごろ、平曾根灯台から真方位288°560m付近の津堅島西方沖において、本船が無灯火で錨泊（水深約5m）し、また、船長が本船の真下の海中において、体にフーカー潜水の送気ホースを絡ませて沈んでいるところを発見した。<br>船長は、死亡が確認され、死因は溺死と検案された。 |

|   |   |
|---|---|
| <p>気象・海象</p>  | <p>気象：天気 晴れ、風向 東南東後、南東、風速 約4～5m/s、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、海水温度 約25℃</p> <p>日没時刻：19時23分</p>  |
| <p>その他の事項</p>   | <p>本船は、うるま市平敷屋漁港を潜水漁業のために出港した。</p> <p>本船には、衝突痕が認められなかった。</p> <p>船長には、持病がなかった。</p> <p>船長の顔からマスクが外れており、また、本船上に設置され、船長に空気を送っていたコンプレッサーは、停止して燃料油は残っていなかった。</p>  |
| <p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p> | <p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、14日12時00分ごろ、津堅島北方沖において、家族の漁船と行き会った後、20時02分ごろ、津堅島西方沖において、無灯火で錨泊し、また、船長が、本船の真下の海中において、体にフーカ潜水の送気ホースを絡ませ、顔からマスクが外れて沈んでいるところを発見されたことから、12時00分ごろ以降における錨泊開始後から20時02分ごろの間において、本船から送気して潜水漁業中、船長が、マスクが外れたことから、死亡するに至った可能性があると考えられるが、マスクが外れた状況を明らかにすることはできなかった。</p> |
| <p><b>原因</b></p>  | <p>本事故は、本船が、津堅島西方沖で錨泊した後、本船から送気して潜水漁業中、船長がマスクが外れたため、発生した可能性があると考えられる。</p>   |